

壁

壁紙のお手入れ方法

壁紙が仕上がった時の美しさを長く保つためには日常のお手入れが大切です。
そこで、ここでは壁紙のお手入れ方法についてご紹介します。

まずはこのポイントをおさえましょう

壁紙の素材を
チェック

ビニル・織物など
素材を確認しましょう

汚れの原因を
チェック

手あかや食べ物のシミなど汚れ
の原因をチェックしましょう

汚れにあわせた
お手入れ方法を行う

汚れにあわせて適切なものを
使用してお手入れしましょう

素材別のお手入れ方法

水や洗剤をつけてお手入れをする場合は、目立たない場所で試してから行って下さい。

ビニル壁紙

ジュースや調味料、手あか等の汚れについては、水か中性洗剤を薄めた布で拭き取り、仕上げは乾拭きをして下さい。壁紙表面に凹凸がある場合は、軽く歯ブラシなどを使うと効果的です。

油のシミはベンジンで押さえるようにして拭き取ります。
鉛筆なら消しゴムで、クレヨンやクレパスなら中性洗剤の原液を布につけて拭き取ります。
(但し水拭き + 乾拭きを忘れずに！)

オレフィン壁紙

日常の汚れは固く絞ったスポンジや布などで水拭きして下さい。中性洗剤も薄めたものなら使用できます。
あまり強くこすらないよう注意して下さい。

紙壁紙

撥水加工を施してあるものもありますが、基本的にシミのもとになるため水拭きは厳禁です。

手あかなどの汚れは消しゴムでこすり取るように落とします。ただし強くこすりすぎないように注意して下さい。

使用上の注意点

日常のお手入れに加え、下記の点にも注意してください。

タバコの煙、台所の油煙について

タバコの煙や台所からの油煙は、壁紙を短時間で黄変させ頑固な汚れとなります。室内の換気を心掛けてください。

粘着テープを貼らない

テープの粘着剤が壁紙に移行し、変色や汚れの原因となったり粘着テープを剥がす時に壁紙を破損する恐れがあります。

コットン壁紙

(コットンソフィーナ)

一般的な紙壁紙より表面強度は高いですが、水拭きは避けて下さい。また洗剤もシミになるので使用しないで下さい。
汚れが付いた場合は、固く絞った布で汚れを叩くように取ると効果的です。

手あかなどの汚れは消しゴムでこすり取るように落とします。ただし強くこすりすぎないように注意して下さい。

織物壁紙

シミのもとになるため、水拭きは厳禁です。
全体のホコリは丸ブラシをつけた電気掃除機を壁にあてて取り除きます。

手足が触れる汚れやすい部分は洋服ブラシを使ってタテ・ヨコにブラッシングし、仕上げは掃除機で整えます。

珪藻土壁紙

汚れた直後なら、固く絞ったスポンジや布で軽く叩くと効果的です。ただし表面の粒子(骨材)に染み込んでしまうと除去するのが困難です。

ホコリなどの汚れが付着した場合は、乾いたスポンジ等で叩きながら、吸い出すようにして除去します。または柔らかい毛足のようなもので掃き出したり、掃除機等のブラシで叩きながら吸い出すようにすると、ある程度は除去できます。

直射日光からの保護

壁紙は直射日光が当たる場所では変退色する恐れがあります。カーテンやブラインド等での日除けを心掛けて下さい。

換気・除湿を行う

結露は、壁紙のシミ・カビ・剥がれの原因となります。結露を防ぐには換気回数を多くしてください。除湿機を活用することも有効です。

シンコール株式会社 お客様相談室 フリーダイヤル：0120-788-737

Email : sincol@sincol-kys.co.jp

ホームページ : <http://www.sincol-kys.co.jp>

